

特別会計決算状況及び町債の状況

会 計 名	歳入	歳出	実質収支	町債の残高
国民健康保険	6億182万4千円	5億1,831万9千円	8,350万5千円	0円
老人保健医療	9億4,448万1千円	9億1,688万7千円	2,759万4千円	0円
簡易水道事業	5,003万6千円	4,621万6千円	382万円	5億6,823万2千円
介護保険	4億2,571万4千円	4億1,814万7千円	756万7千円	0円

会 計 名	収 益 的 収 支		資 本 的 収 支	
	収 入 額	支 出 額	収 入 額	支 出 額
中 央 地 区 簡易水道事業	9,622万2千円	7,871万7千円	2億7,017万2千円	2億5,180万3千円

平成14年度の決算が先の9月定例会で認定されました。決算は、まちづくりのためにどれだけの収入があり、その収入をどのような事業に使ったかを明らかにするものです。今回は、グラフと表を使ってその内容をお知らせします。

町の財政は、一般会計と特別会計の2つに分けることができます。一般会計は、総務費、民生費、農林業費、教育費など町の財政を運営する最も基本となる会計です。

特別会計は、一般会計とは別に、特別な予算をもって事業を行うもので、国民健康保険、老人保健医療、簡易水道事業、介護保険、中央地区簡易水道事業の5つがあります。中央地区簡易水道事業については、公営企業法の適用により収益的収支と資本的収支に分けた事業会計となります。

一般会計の決算額は、歳入が34億874万7千6百円、歳出が34億570万7千円、差引8億176万8千円となり、繰越す

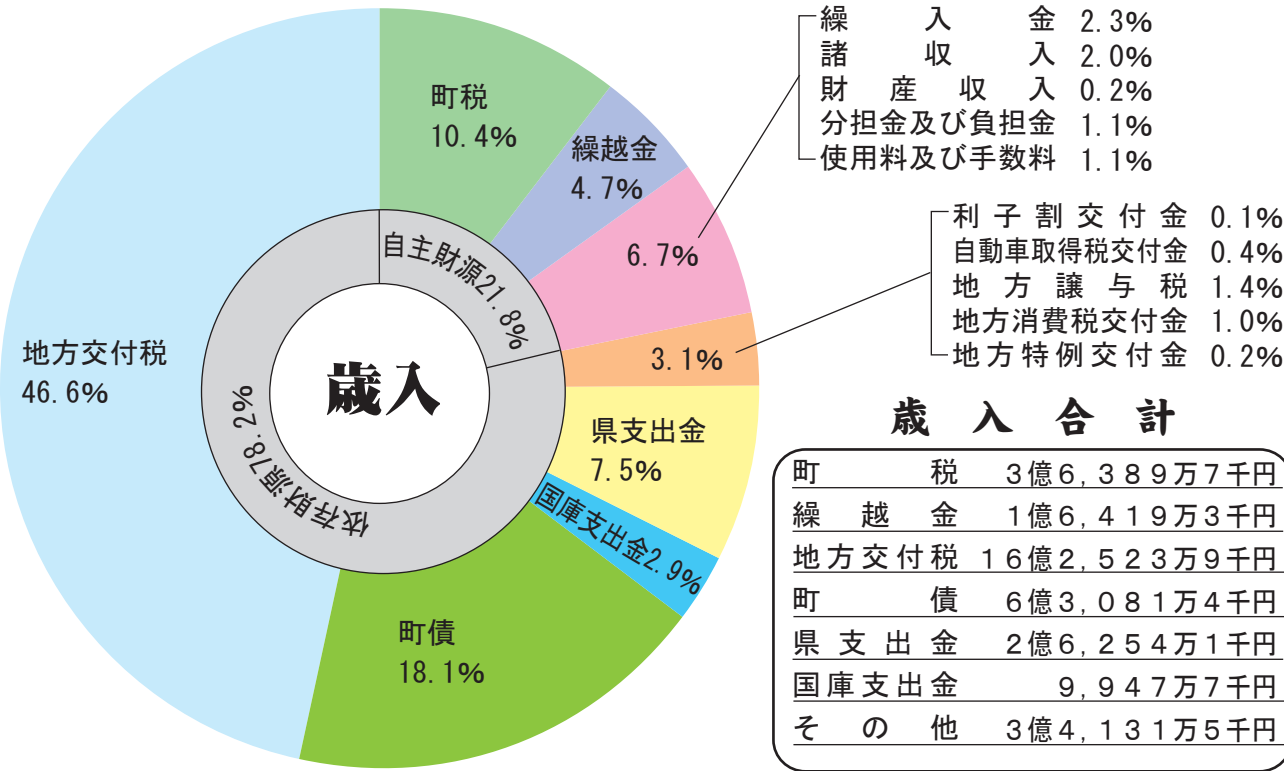
べき財源額はなく、実質収支は8億176万8千円の黒字となっています。

歳入は大きく分けて町税や繰越金などの自主財源、町債、地方交付税などの依存財源の2つに分けられます。本町は、自主財源の比率が低く、地方交付税が全体の半数近くを占めるなど依存財源が78・2割を占め、ますます依存財源型の状況が進んでいます。

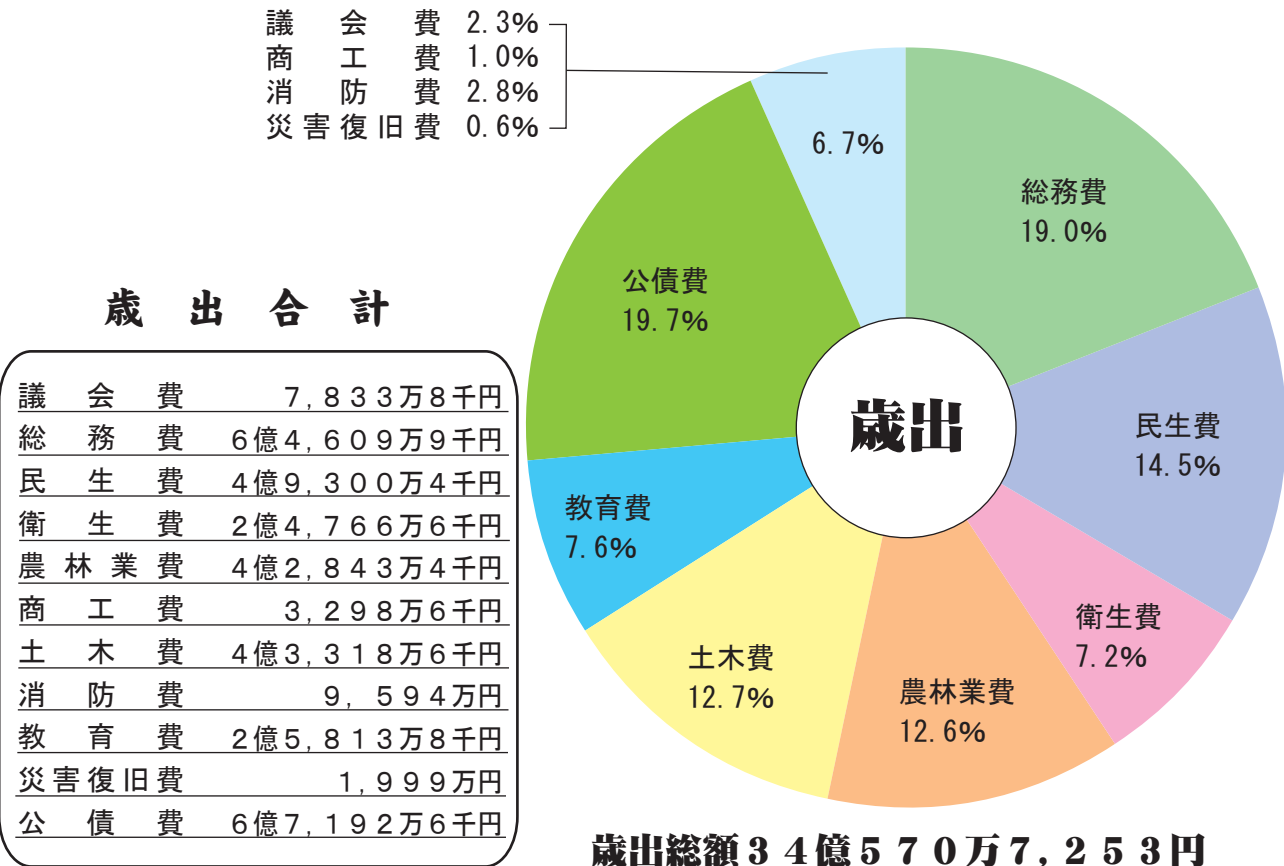
歳出の主なものは、公債費で、これまで実施した大きな事業にかかる償還です。次に多いのが総務費で地域インターネット基盤施設整備事業、人件費が主なものです。次が民生費で、特別会計への繰出金が主なものです。また、14年度末の町債現在高は、56億963万4千円となっており、町民一人当たり114万6144円の借金を抱えていることとなります。

上の表は、特別会計と企業会計の決算及び町債、事業債の状況を示したものです。

平成14年度 決算報告 私たちの税金はこうに使われました



歳入総額 34億8,747万5,746円



歳出総額 34億570万7,253円